



近代長者鑑

三

1681
3



1681

いそぎとくもえしのまゝに
うゑあふく

浮世の人を

馬鹿堂

近代長者鑑事之第三

目録



七十日長旅をぞ初れ物

人のみと愛も惜痛つとてうれは後ひま
あつたてふてとてあつたてふてあつたてふて
あつたてふてあつたてふてあつたてふて

は又りわひ生れれらるゝの女部

かゝるはれ後うらうらとあつたてふて
あつたてふてあつたてふてあつたてふて
あつたてふてあつたてふてあつたてふて

中 出典

後世名内二子置れがめあはるる

常あつていふりてあつてあつてあつての本
一書とていふはしてのまゝにれまゝに
つ子に在れば二代々もあつてあつては

新書とわらふに置れは親書

中からいふすよあつて腐網りて腐り男
世とては川へあつてすくも捨られぬ今
と目れ高ひらうらうや縁縁の親化

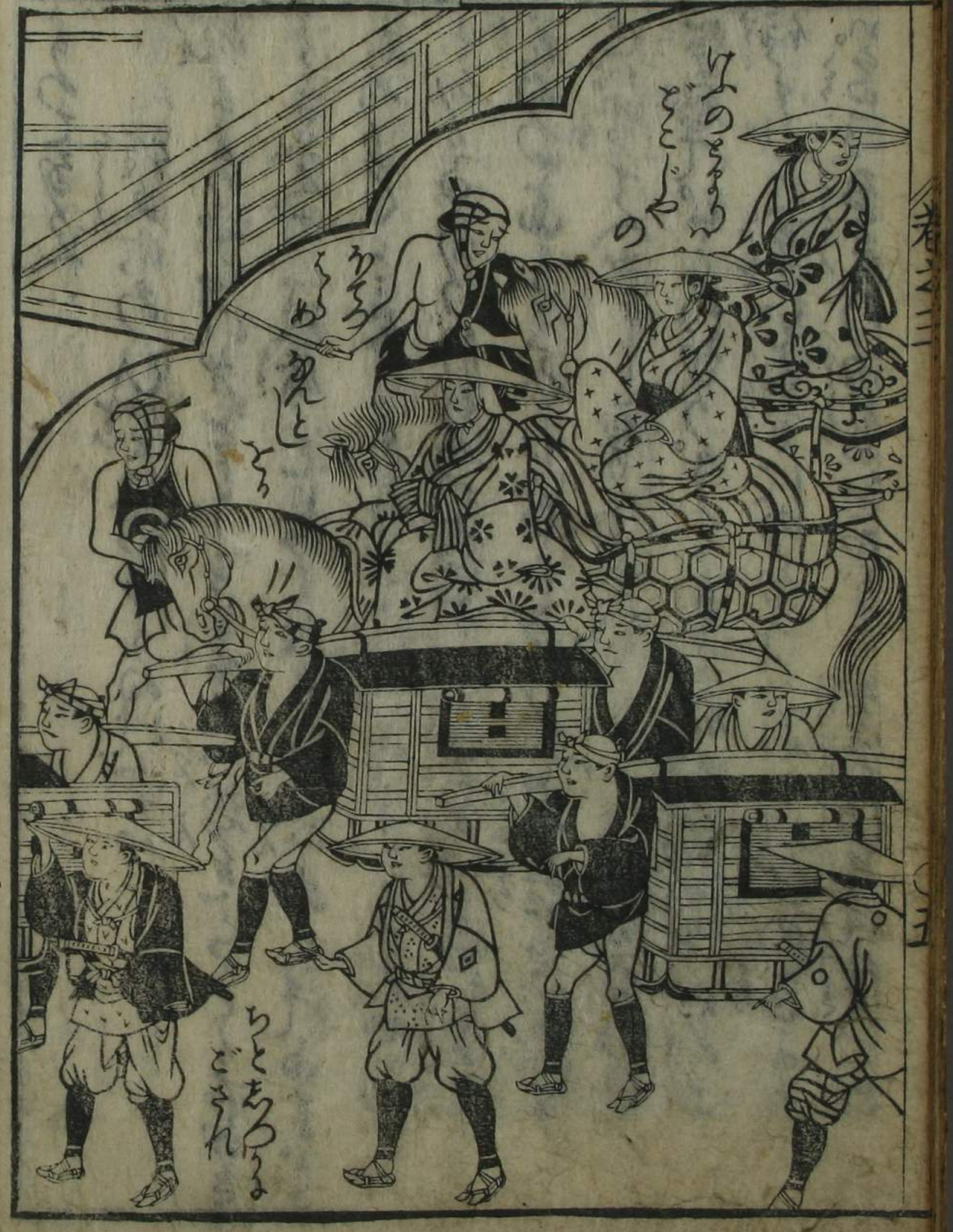
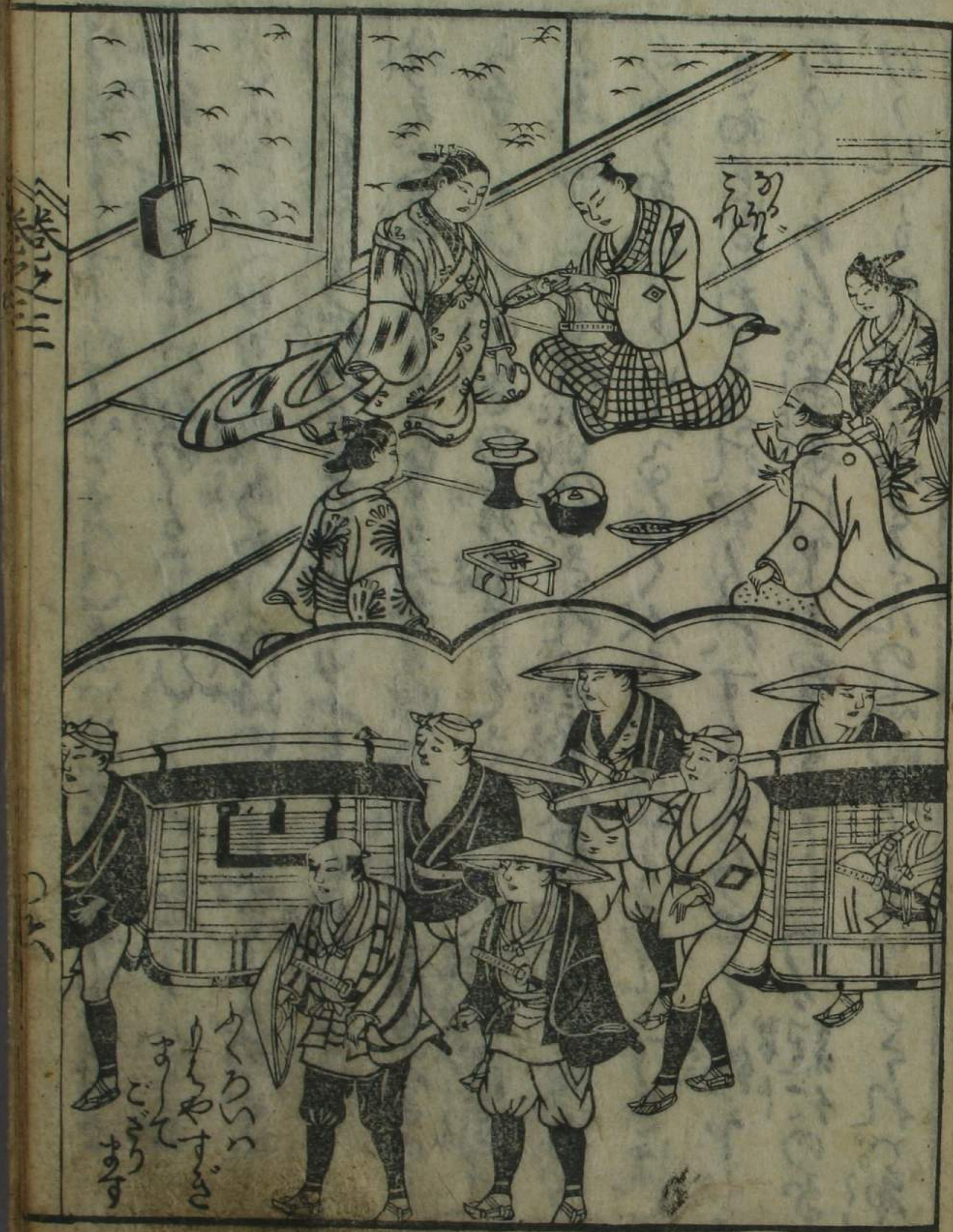
近代長と置書之第三

七十又月れ長をびいこれと都乃油の

仲尼の座置何の語りも常あつて縁へ金取小いあつて
一生及とていふは徳とていふはあつてあつてあつて
さむきさむきとて置子にあらくあつてあつてあつて
いふはあつてあつてあつてあつてあつてあつて
んさ人常とてあつてあつてあつてあつてあつて
ありははあつてあつてあつてあつてあつてあつて
徳に養もそのあつてあつてあつてあつてあつて
紙子にうらうらあつてあつてあつてあつてあつて
いあすけいとあつてあつてあつてあつてあつてあつて

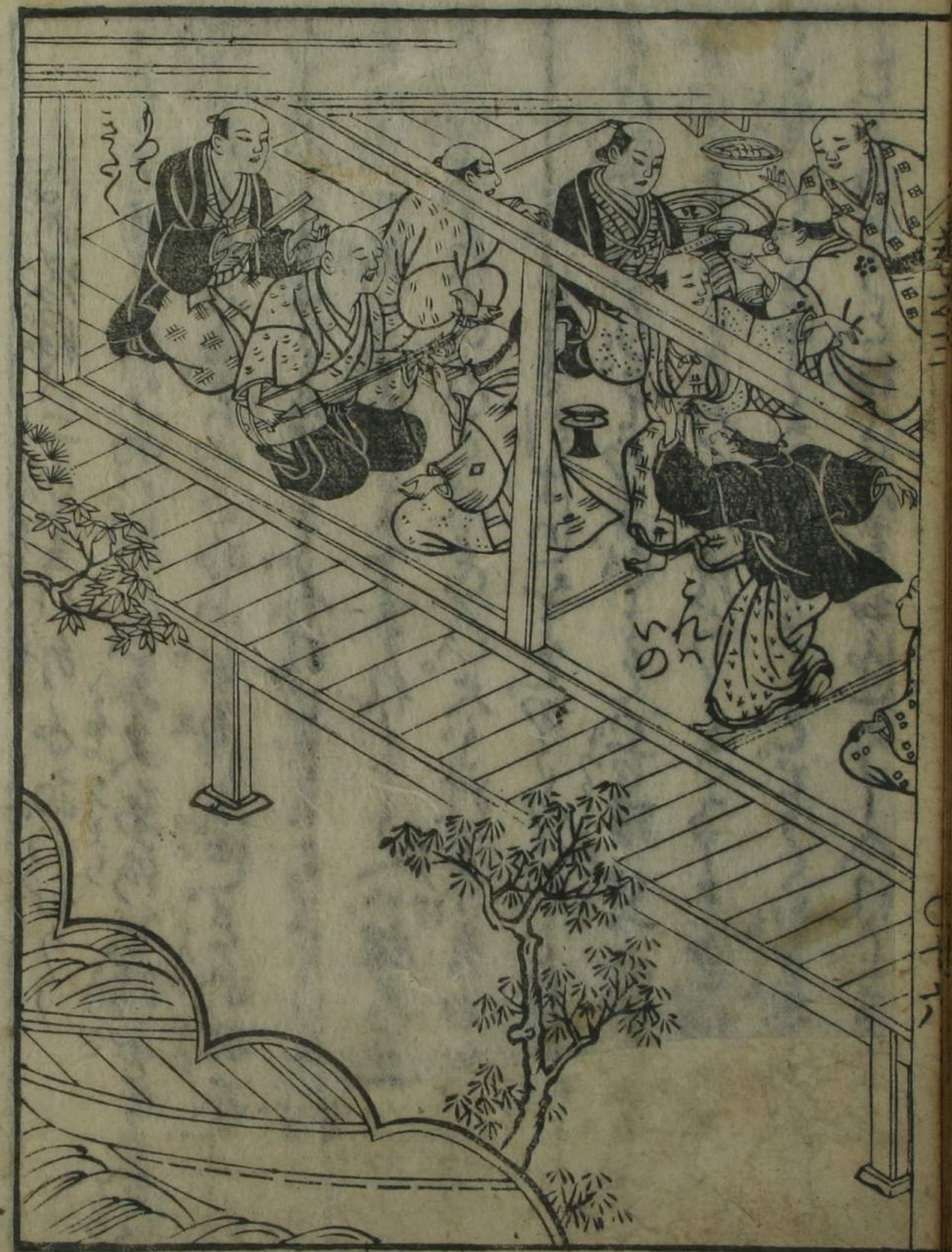
アキツクあてし百の二百のおと。一着れ指ふくけそ。あつらひ
て。あまより。女房の口ふめて。編わらふそ。初夜時。うまそ。
夕服もけら。男れ。入。あそ。す。ち。ぬ。れ。い。後。ひ。り。が。あ。り。
子。だ。い。す。く。ら。も。や。と。む。く。う。ぐ。い。い。お。れ。も。ら。も。あ。り。れ。も。ら。も。
んと。は。い。に。せ。う。め。と。踏。込。の。掉。乃。に。は。よ。め。け。て。あ。る。米。う。う。
と。か。つ。ら。ち。ん。と。て。お。れ。よ。す。あ。そ。ぬ。あ。め。と。さ。う。う。と。い。は。し。
さ。ら。し。ば。や。う。か。會。家。れ。後。世。と。時。の。賢。人。の。よ。の。や。す。さ。
の。志。の。い。さ。く。大。切。か。金。銀。と。う。あ。り。と。り。が。お。は。て。榮。耀。
榮。耀。と。さ。う。め。ほ。い。と。あ。は。す。い。居。こ。と。あ。は。ぬ。て。あ。
ま。し。と。て。く。い。い。い。い。あ。さ。ら。ひ。う。見。お。籠。れ。お。い。ぬ。い。と。
う。う。と。お。ね。大。直。横。と。人。小。あ。ぐ。め。う。あ。い。い。い。か。れ。

子てとくかへぬ不化と。が。自。慢。め。の。男。へ。不。待。安。林。ら。師。
と。と。う。ら。れ。と。あ。い。と。大。の。の。ち。は。方。に。中。海。の。着。と。さ。そ。
ゆ。ら。さ。と。つ。め。あ。い。は。す。ふ。い。や。さ。ら。大。家。ふ。つ。う。へ。て。な。ま。
に。年。月。と。お。う。ら。れ。う。と。い。と。や。一。若。菜。の。あ。ふ。め。
つ。う。れ。ち。よ。と。う。女。は。お。く。れ。さ。う。あ。れ。あ。さ。ら。の。か。
す。つ。の。り。て。ば。あ。う。ふ。む。う。う。女。の。お。と。の。あ。け。と。よ。よ。
その。も。あ。も。た。う。つ。じ。く。喜。ぶ。金。ん。は。後。一。然。り。れ。角。め。
と。と。あ。り。い。い。と。あ。れ。う。う。金。子。に。年。あ。つ。け。て。書。み。よ。つ。
い。と。う。れ。ぬ。げ。角。め。と。う。男。の。の。よ。う。う。ま。れ。大。く。と。
の。の。む。す。め。の。子。を。す。こ。こ。と。う。う。ま。て。い。い。い。い。入。れ。て。も。じ。
や。ら。に。大。す。ふ。け。て。も。と。と。女。房。い。と。い。い。い。い。い。い。い。



徳政のすずむしとらうのまの紙箋に幕とすすまを
 御室に安井れ義のりりむむありじりりすと。折
 くいらるる(おあり)漢あり。地師の久と東とんのおふ
 夏の製年。多証の長とあむら。あまを指よとらるる
 仕た。大動とらとめせら。又ある時。芝居の座中との
 らす。こびては色の舞臺として。さあぐれねを。蘭園れ
 とふ。秘のぬそは。世見おさん。世界れ。四つ切の。りのり
 らふ。あらず。とらるるあへ。金銀のむら。やとす。あはじ
 こも。お。あ。れ。む。ら。れ。す。ら。ふ。つ。ら。と。く。せ。や。ど
 の。ら。く。わ。れ。の。事。業。れ。が。い。が。あ。ら。う。と。あ。る。親。仁。の。お
 げ。れ。も。あ。ら。う。あ。ら。う。の。お。お。い。は。ら。う。ら。れ。の。お。

子れるれ狗を生に。よう。う。も。と。ら。け。て。お。い。け。ら。が。
 んと小ぬい中のあは。口と。い。あ。ん。ち。ら。い。の。い。い。い。い。い。
 あり。是へ。とお。と。い。い。あ。ら。れ。や。あ。ら。れ。す。う。り。
 と。趣。向。と。お。し。ひ。ら。と。だ。く。の。系。の。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。の。新。町。ち
 り。う。頃。後。本。よ。も。せ。よ。あ。ら。れ。本。過。ら。う。ま。の。室。い。り
 ら。よ。と。せ。よ。我。の。と。れ。女。師。わ。ら。い。招。く。小。ま。く。う。い。い。い。
 一。や。う。西。神。の。お。ふ。あ。ら。う。の。目。鼻。筋。と。一。と。と。ら。て。
 大。紳。謹。の。ぬ。い。人。ね。む。う。れ。乳。乃。う。人。に。黒。子。あ。ら。う。た。れ
 し。い。う。う。う。う。う。に。黒。子。と。い。す。と。う。う。う。う。が。皆。あ。り
 て。本。け。ら。あ。い。い。二。平。む。う。う。め。れ。い。は。い。と。う。れ。女。師。も
 あ。ら。う。す。い。が。ん。ち。う。う。に。さ。う。と。う。の。さ。い。と。ら。ら。う。う。と。と。



びかかへいづくりつて。くらぶる者さまを。うつくしく。目と
 おらふ。二年ぐうりて。すぐれど。むいどと。押しひわら
 へる。と。毎月十三夜。多し。あな。の。月見。おぼ
 へ。い。言。う。て。秋。の。葉。を。さ。ら。せ。り。じ。う。さ。あ。ま。よ。と。こ
 ろ。し。ら。ち。な。お。れ。拓。原。好。し。厚。見。の。お。鼻。産。及。の。ち
 と。あ。つ。と。味。は。え。さ。ら。ま。り。女。捕。智。恵。お。れ。り。ひ。て。中。を。り
 う。て。の。ち。ふ。り。事。社。乃。他。お。小。足。あ。紙。清。あ。や。んと。ま
 こ。の。言。は。せ。の。あ。や。り。や。つ。す。さ。ま。ま。か。せ。れ。敷。ら。ひ。れ
 て。も。こ。の。し。ら。い。ま。こ。と。純。子。と。し。せ。と。は。の。と。神。の
 と。秘。術。と。つ。て。こ。の。む。い。ど。い。う。う。あ。や。だ。に。俗。念。を。り
 す。れ。て。お。ま。を。お。ま。わ。り。お。ま。わ。り。は。ま。り。り。こ。こ。ら。あ。社

たり。物。を。り。ん。さ。く。は。あ。の。御。縁。と。け。ほ。して。我。お。い。養。殖。百
 敷。ひ。と。を。ほ。して。す。じ。と。う。う。さ。す。う。う。と。見。せ。ん。ゆ。と
 へ。い。あ。う。う。け。武。指。時。ぐ。い。ま。お。れ。う。う。り。や。く。り。れ
 ら。ん。し。せ。ん。ぬ。と。足。の。指。は。し。ん。い。い。あ。お。い。う。で。う
 こ。よ。よ。と。さ。さ。ず。ち。も。い。り。あ。い。ん。い。ち。ち。ま。い。り。あ。い。て
 い。ら。ひ。う。い。も。ち。う。さ。す。い。て。見。せ。ん。り。や。く。掃。ち。の。御。百
 八。指。り。ん。た。豆。腐。と。ま。ま。と。百。丁。と。奥。の。さ。め。う。う。せ。ん。さ。う
 林。太。あ。い。じ。め。き。ん。と。小。女。け。成。吹。り。う。ま。う。つ。日。は。よ
 の。し。じ。や。と。い。い。て。の。ん。ご。う。い。養。殖。お。子。お。な。ら。つ。び。ん
 し。り。や。い。の。ま。す。い。り。代。こ。い。え。ま。お。こ。ほ。わ。つ。の。ま。と。ん
 ある。お。ま。れ。夜。半。清。あ。み。り。あ。ね。の。長。く。お。し。ゆ。あ。の。し。と

200-10

〃

〃

そらうわらばやうか大徳の十年も百年も夢命にあは
れかゝるあれどるきたしむ世やいやく卒申らるあま
やれ醫もよけいもよふわせあをさしう先定業
りまうわりていあよとあへあひまひつみねはう十八
よと家督をついで二代長きとあうれられはかこき
ふらひこわりのけのと乳よまうかそ大切か命をた
らぬやうらぬ世にありつひよとあわけて年
年とぬらふか感うらむちんとさうとも見るかせん
さ。威陽もあうひすよいあうらうもの皆を時
と。あうすはうとらうらまわう
利生とあうらうら親者

今ねとらふものあれは決あるものその念うらひ
んで中お茶は獅子れとく。業は活かうらあけて
もるあまのあれとあひはあうらうらあうれ
い支えしともやけらああわらうらうらうらうら
あもああるの鉄物うらもあし。あ彼家材やう。又れ
ゆらうれ今ねとらうのあまやうあまはして大桶
半の炭さしあまらあうす。あうらうらあまらうら
んれあも。回もあひすいあんと世法をうら念
してさくわらうらうらうらうらうらうらうら
ちもあうらあもあもあもあもあもあもあもあも
あもあもあもあもあもあもあもあもあもあもあも

利生

十一

